



今月のテーマ 「企業の福利厚生」としての社員食堂のあり方

最近の日本経済における雇用情勢は2009年ごろから回復し、現在では企業による求人活動では「超売り手市場」となり、仕事はあるが「人がいない」という状況になっています。

このような人材確保が難しい環境下で、更なる雇用の促進のために企業の福利厚生への投資が進んでいます。その中で私たちに関係するのが社員食堂です。以前より大企業では社員さんたちのモチベーション向上のために当たり前のようにおこなっていた社員食堂の無料化やメニュー・内容の充実、食育による健康経営の実践など「企業の福利厚生」として社員食堂の充実を考える企業がどんどん増えてきています。社員食堂は、ただ食事をするだけの空間ではなく企業として「人を活かし、育てる」空間であると思います。

当社もこのような状況のお客様のニーズにお応えできるようにしなければなりません。現在、不定期に行われるイベント食・特別メニューなどをご提案したり、食育に関するセミナーなどを行っています。もっと「楽しい」「うれしい」「美味しい」サービスを考え、提供していきましょう。



写真は富士フィルムさんの食堂。おしゃれです。

スタッフの一言

シンショクの地元、大東市が住道駅にて「ズンチャッチャ夜市」なる野外飲食・物販イベントを行うとのことで出店しました。ターゲットを若い女性に絞り込んで、おしゃれ感やシズル感を出したいというコンセプトとのことでしたので、私はそのようなセンスを持ち合わせていないことから、当社が一番若手の26歳、イタリアンの店をやっていた経験を持つ林君にお任せしました。

さあ、いざ本番です。さすがに店作りもおしゃれにしてくれ(写真)メニューも女性にはうれしい、低糖質のベーグルを使ったベーグルサンド、ドリンクはフルーツハイボール(3種類の味が選べる)をおしゃれに飾りつけてくれました。

結果、長蛇の列が出来てしまい、めでたく完売してしまいました。

今月も30日の夜に行いますのでお近くの方はぜひお立ち寄りくださいね。



「おふくろさん」インタビュー

今月のおふくろさん紹介です。(当社を支える存在のパートさんたちを紹介し)第10弾は仁張工作所様の食堂にて活躍していただいている「中野良子さん」です。

[インタビュー内容]

Q1.担当のお得意先様は？

A1.仁張工作所様です

Q2.勤続何年目ですか？

A2.5年目です

Q3.得意料理は？

A3.ハンバーグ

Q4.仕事で楽しかったことは？

A4. お料理を作っているとき

Q5.現場から一言お願いします。

A5. 暑さに負けず頑張ります！



とても手捌きがいい中野さん、一人で約40人分を提供してくれてます。お客様にも愛されていますね。